

2025年4月16日

## 「巨樹・古木の診断イベント」実施について

大樹生命保険株式会社（代表取締役社長 原口 達哉、以下「当社」）は、一般社団法人 日本樹木遺産協会（代表理事 森 義仁）への協賛を通じ、地域の財産である**巨樹・古木の保全**に取り組んでいます。

今般、2025年4月に（一社）日本樹木遺産協会による**巨樹・古木の診断イベント**が実施されましたので、お知らせします。

診断イベントは、福島県東白川郡鮫川村の火打石地区にて行われ、さまざまな世代の方が参加されました。樹齢400年以上の「しだれ桜」について、樹木医が専用の計測器を使用し、内部がどのくらい腐朽しているかを調べました。

診断結果について、樹木の腐朽率は、71%でした。この腐朽率は、樹齢が高い樹木としては、よく見られますが、そのまま放置すると腐朽が早く進行し、次世代に受け継ぐことが難しくなることから、当社は、（一社）日本樹木遺産協会への協賛を通じ、樹木医による定期的な診断・治療を行ってまいります。

当社は今後も、社会の一員として豊かな社会の実現につながるよう、地域に根ざした社会貢献・環境保護活動に努めてまいります。



しだれ桜



診断イベントの様子

以上